

令和5年12月1日

日本循環器学会・日本臨床救急医学会  
循環器疾患に対する病院前救急の合同委員会

救急業務における  
12誘導心電図の測定の対象と  
測定プロトコール等について



## 委員会の概要

- ・ 日本循環器学会と日本臨床救急医学会が合同で設置した検討委員会（令和4年8月～）
- ・ 循環器病対策基本法（平成30年）の成立を踏まえて病院前における救急隊や救急救命士による心臓循環器疾患への対応のさらなる質の向上、体制整備を目的
- ・ まずは、急性冠症候群、急性大動脈解離、心不全の3疾患への対応を検討

## 検討の項目

- ① 「12誘導心電図測定・伝送基準」のブラッシュアップ  
※日本循環器学会より提案し、消防庁より全国に紹介された基準の見直し
- ② 急性大動脈解離を疑った際に必要な観察項目と搬送先選定の目安の策定
- ③ 心不全を疑った際に必要な観察項目と搬送先選定の目安の策定

## 検討にあたっての留意点

- ・ 循環器疾患に限らず様々な疾病へ対応する救急隊の活動に十分に配慮する。
- ・ 地域性（専門病院の数、搬送時間など）やこれまでの取り組みに配慮する。
- ・ 救急隊員による疾病の観察・処置の標準化アルゴリズム（PEMEC）等に配慮する。

日本循環器学会・日本臨床救急医学会 合同検討委員会委員

○佐藤直樹 かわぐち心臓呼吸器病院 循環器内科  
菊池 研 獨協医科大学病院 救命救急センター・集中治療室

加藤正哉 和歌山県立医科大学 救急・集中治療講座  
石原嗣郎 新潟大学医歯学総合病院 循環器内科

中田 徹 広島市消防局  
日笠利夫 高松市消防局  
田邊晴山 救急救命東京研修所

(○委員長)